

本郷 尚 著

「相続の6つの物語 ―資産を使って楽しく生きる「自遊自財」―

日本経済新聞出版社 2016.8 207 ページ 1,500 円(税別)

本書には、定年後・相続後の60～70代の夫婦が、これからの20～30年を、どうすれば明るく楽しく生き抜いていけるかをテーマとした6つのドラマが描かれている。

第一は、年金生活に入り、資産はあるが収入が少ない暮らしに不安と失望を募らせる夫、第二は、亡くなった義母が建てた家を建て替えたい妻、第三は、高齢の母が高級老人ホームに入居して、自宅の処分を巡って対立する兄弟、第四は、亡夫の跡を継いでゴッドマザー的な母が病に倒れた家族、第五は、亡父の残したアパート経営に悩む夫、第六は、一代で会社を急成長させたが病に倒れた経営者が、それぞれ主人公となっている。

当初はそれぞれ一徹な人生観で自縄自縛の状態にあったが、家族や関係者に助けられて、自分の生き方を見直す物語となっている。

著者は、相続対策や資産活用で著名であるが、自身が60代後半を迎えて、自分は子どもに財産を残すために相続対策をするかと自ら問うた時に、その気のないことに気づき、「自遊自財」に生きることに開眼したという。

プライベートバンカーが、お客様に提案するに当たって、単なる節税対策だけで本当にそのファミリーにとって最適なものか、違った視点で振り返るのに役立つ。

著者は、税理士、株式会社タクトコンサルティング会長。

【主要目次】

第一の物語 執着

第二の物語 封印を解く

第三の物語 裸の王様

第四の物語 最後の仕事

第五の物語 アパート

第六の物語 ゲームオーバー

特別対談 本郷尚×太田三津子 六五歳からは「自遊自財」

相続対策よりしあわせ対策！